

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 6日

(宛先) 高槻市長

提出者

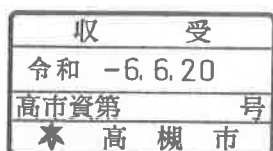
住所 大阪府大阪市中央区久太郎町2-5-30

氏名 前田建設工業株式会社 関西支店

常務執行役員支店長 坂口 伸也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6243-2414



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社関西支店（高槻市管轄内作業所）
事業場の所在地	高槻市内
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高： 609.46億円（税込） （令和5年度支店全体）
③従業員数	355名（関西支店）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	7,618 t	0 t
①現状	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・省梱包による現場搬入 ・プレカット（LGS、ボード）を実施 ・有価物の分別の徹底（スクラップ、電線、ダンボール等） 		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	6,856 t	0 t
②計画	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・資材、工具、用品を転用し有効利用を図る ・材料持ち込みのユニット化 ・廃棄物の発生が少ない工法の採用 ・余剰材の引き取り ・残コンの有効利用 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・特定建設資材は、4品目（コンクリート、コンクリートと鉄からなる建設資材、木材、アスコン）に分別。その他紙くず、廃石膏ボード、金属、廃プラなどは4品目以上に分別。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・分別する予定の産業廃棄物の種類は現状を維持。 ・小口回収システムをさらに定着させる。 ・分別ヤード確保と分別品目・方法の見える化

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃酸	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)	紙くず
0 t	0 t	0 t	1 t

②計画

廃酸	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)	紙くず
0 t	0 t	0 t	1 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃石膏ボード
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃石膏ボード
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他のがれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
1,382 t	166 t	0 t	0 t

②計画

コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他のがれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
1,244 t	149 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（照明器具）	
0 t	20 t	0 t	0 t

②計画

建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（照明器具）	0
0 t	18 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	（これまでに実施した取組） ・実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施なし		
		【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施の予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	7,618 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	7,618 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・電子マニフェストの使用率を上げるため原則紙マニフェスト使用禁止としている。 			

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃酸	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)	紙くず
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃石膏ボード
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

(第4面-4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他のがれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
1,382 t	166 t	0 t	0 t
960 t	0 t	0 t	0 t
1,382 t	166 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

(第4面-4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物 （照明器具）	0
0 t	20 t	0 t	0 t
0 t	12 t	0 t	0 t
0 t	20 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
②計画	全処理委託量		6,856 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量		1,371 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量		6,856 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・さらに電子マニフェストの使用率向上に取り組む。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・再資源化率の高い処理業者を優先的に選定していく。 ・委託先処理業者に対して定期的な現地確認等を実施する。 			
※事務処理欄				

②計画

廃酸	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)	紙くず
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	1 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃石膏ボード
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	その他のがれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
1,244 t	149 t	0 t	0 t
622 t	30 t	0 t	0 t
1,244 t	149 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

建設混合廃棄物 (安定型)	建設混合廃棄物 (管理型)	水銀使用製品産業廃棄物 (照明器具)	0
0 t	18 t	0 t	0 t
0 t	9 t	0 t	0 t
0 t	18 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

別添1 処理工程図

総合工事（解体工事を含む）

- ・ 優良認定業者の積極的活用
- ・ 産業廃棄物の処理状況の定期的な確認の実施
- ・ 電子マニフェストの利用（原則）
- ・ 分別の実施
- ・ 石綿含有廃棄物 → 最終処分場に委託処理
- ・ がれき類
→ ①法令等に基づいた上で、自ら利用できる場合は現場内利用。
②再生処理業者に委託して再資源化。
- ・ 建設汚泥
→ ①法令等に基づいた上で、自ら利用できるものは現場内利用。
②再生処理業者に委託して再資源化。
- ・ その他 → 原則、再生処理業者に委託して再資源化。

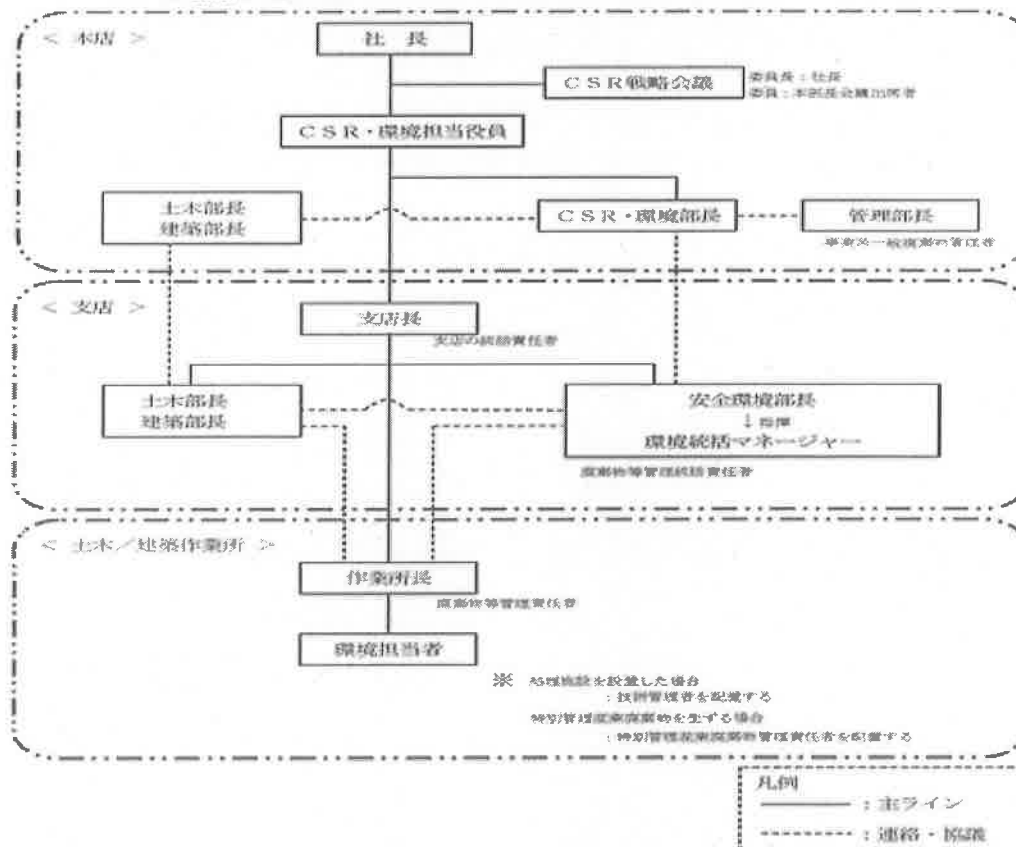
別添2 管理体制図

廃棄物処理に関する管理体制

別紙

支店統括責任者	関西支店長
廃棄物等管理統括責任者	環境統括マネージャー
支店長	①支店の統括責任者 ②廃棄物処理委託契約の承認 ③廃棄物等管理統括責任者の任命
支店安全環境部長	①環境統括マネージャーの指揮
環境統括マネージャー	①支店の廃棄物等管理統括責任者 ②廃棄物等の実績把握と本店への報告 ③マニフェストの運用管理及び保管 ④廃棄物処理委託業者の調査、及び承認時の確認
支店土木部長・支店建築部長	①廃棄物処理委託業者との委託契約の承認 ②マニフェストの運用管理
作業所長	①廃棄物等管理責任者 ②産業廃棄物処理施設を設置する場合、技術管理者の指名 ③特別管理産業廃棄物を生ずる場合、特別管理産業廃棄物管理責任者の指名
環境担当者	①マニフェストの運用管理 ②産業廃棄物等の分別、保管、処理の管理 ④廃棄物の排出実績の記録

廃棄物管理体制図



前 年 度 【 令和 5 年 度 】 実 績

事業費の目的	令和5年度												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
科目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業費の目的	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
21	建設汚泥	7,618									7,618		
300	②廃油												
400	③廃液												
600	④焼アラスチック類												
2430	⑤焼プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)												
710	⑥紙くず												
810	⑦木くず												
1210	⑧金属くず												
1300	⑨ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず												
1322	⑩廃石膏ボード												
1501	⑪コンクリート塊												
1502	⑫アスファルト・コンクリート塊	1,982								1,982			
1500	⑬その他のがれき類	185								185			
2440	⑭がれき類 (石綿含有産業廃棄物)												
2010	⑮建設総合廃棄物 (安定型)												
2020	⑯建設総合廃棄物 (管理型)	20											
2522	⑰水道使用製品産業廃棄物(蛍光灯)												
18													
19													
20													
合計		9,187								9,187	0.0	9,187	

(注)①～⑫未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効である場合は小数点以下3桁まで記載可。

今年度【令和6年度】目標

事業区分	事業内容	事業年度	事業の概要	事業の進捗状況								事業費(千円)	事業費の増減	備考	
				①計画どおり進捗している	②計画より進捗が遅れている	③計画より進捗が早い	④計画内容が変更されている	⑤計画内容が中止されている	⑥計画内容が不明確である	⑦計画内容が不明である	⑧計画内容が不明である				
21	①建設汚泥												1,371		
2	②廃油														
3	③漆液														
4	④漆・プラスチック類														
5	⑤紙くず														
6	⑥紙くず														
7	⑦木くず														
8	⑧金属くず														
9	⑨ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず														
10	⑩砕石骨材														
11	⑪コンクリート塊	1,244													
12	⑫アスファルト・コンクリート塊	141													
13	⑬その他のがれき類														
14	⑭がれき類(石綿含有低放射線物質)														
15	⑮建設用廃棄物(廃棄物(安定型))														
16	⑯建設用廃棄物(非安定型)														
17	⑰産業廃棄物(雑品)														
18															
19															
20	合計	11,201											11,201		

(注)トントン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有為であればがれき品出下り用まで記載は可。

様式第二号の八（第八條の四の五關係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月17日

(宛先) 高槻市長

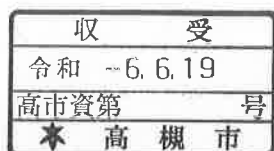
提出者

住 所 大阪市淀川区西中島五丁目9番1号

氏 名 松尾建設株式会社 大阪支店
支店長 井田 了

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6838-4457



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松尾建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪市淀川区西中島五丁目9番1号新大阪花村ビル4階
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D6 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 350,330万円 (大阪支店 前年度実績)
③従業員数	22人 (令和6年4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	集計用シート参照	
		排 出 量	t	t
①現状		(これまでに実施した取組) ・資材等の梱包の簡素化による発生抑制 ・プレキャスト化等発生抑制に配慮した工法の採用		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	集計用シート参照	
		排 出 量	t	t
②計画		(今後実施する予定の取組) ・再利用可能な仮設材の利用促進 ・現場加工の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材廃棄物の分別 ・有価物及び再生率の高い廃棄物の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・より細かい廃棄物の分別を行い混合廃棄物の削減を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
産業廃棄物の種類	集計用シート参照		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t
①現状 (これまでに実施した取組) ・特になし			
【目標】			
産業廃棄物の種類	集計用シート参照		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t
②計画 (今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】			
産業廃棄物の種類	集計用シート参照		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t
①現状 (これまでに実施した取組) ・特になし			
【目標】			
産業廃棄物の種類	集計用シート参照		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t
②計画 (今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

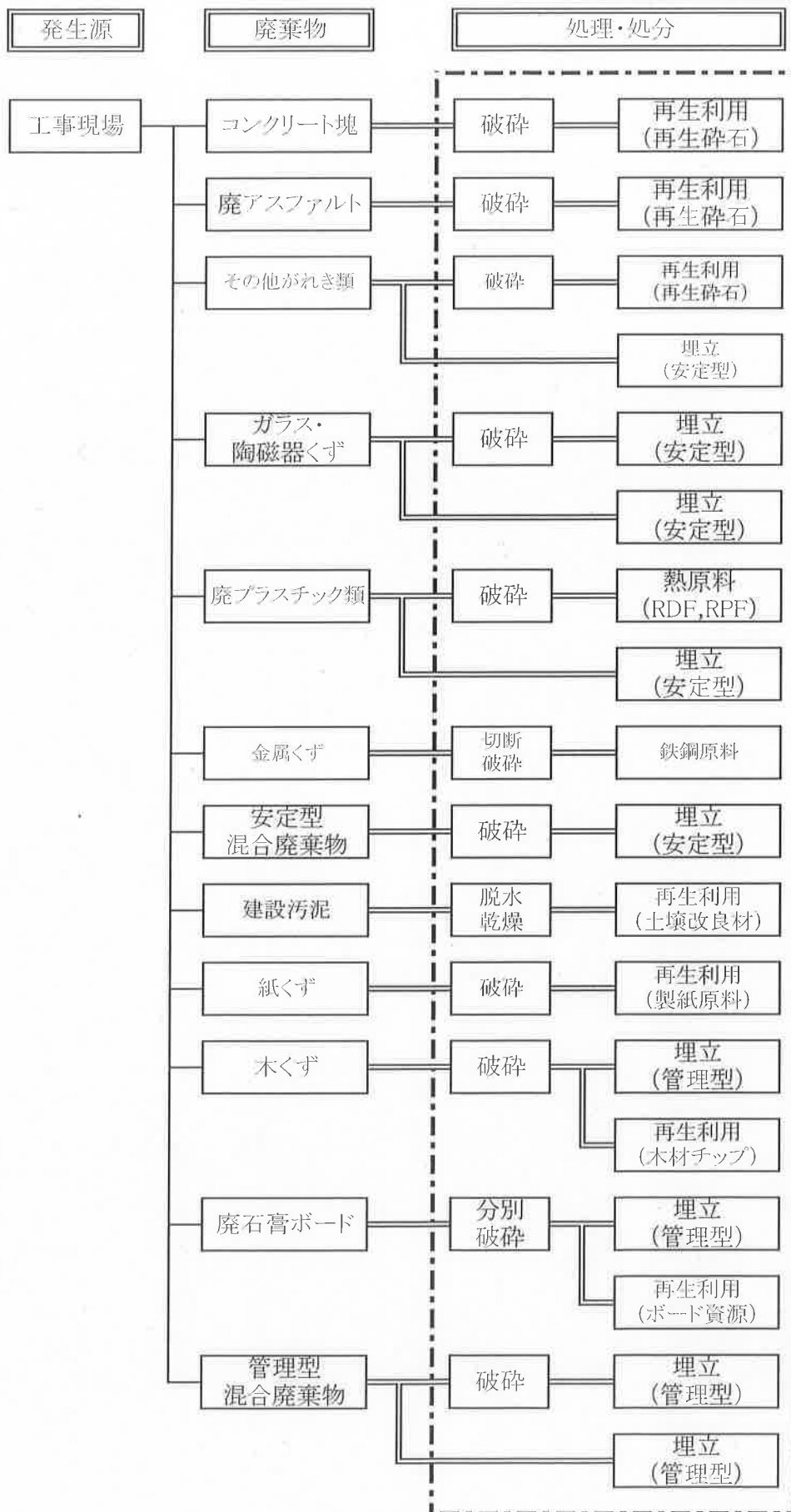
		【前年度（令和5年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	集計用シート参照
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
			【目標】
		産業廃棄物の種類	集計用シート参照
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	集計用シート参照
①現状	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定業者への処理委託 ・電子マニフェスト制度による廃棄物管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェスト制度の利用拡大 ・優良認定業者の利用拡大 ・再資源化業者の利用拡大によるリサイクル率の向上			
※事務処理欄			

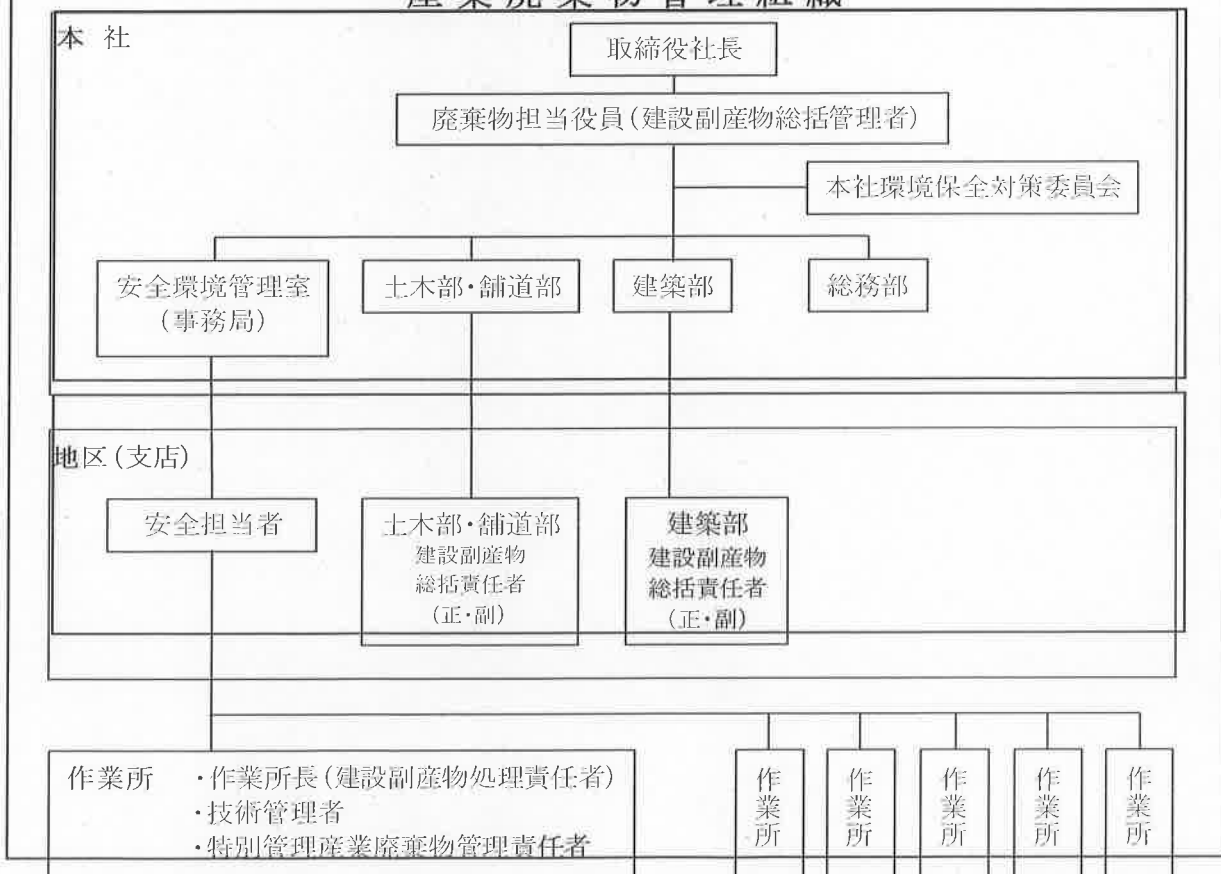
④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括管理者	所 属：松尾建設株式会社	職名：常務取締役
廃棄物担当	組織名：安全環境管理室	組織職員 14名
役 割	環境保全 対策委員会	<p>○建設副産物処理に関する検討 建設副産物の「発生の抑制」、「再利用及び減量化の促進」及び「適正処理の徹底」を基本として運営管理を行う上で必要な事項を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長－専務取締役 ・委員－関連部署担当者 ・事務局－安全環境管理室
	建設副産物 総括管理者	<p>○ 建設副産物処理方針の策定</p> <p>○ 社内管理組織の整備</p> <p>○ 社内管理規定の策定・改廃</p> <p>○ 社内管理規定・処理マニュアルの作成</p> <p>○ 法令・行政指導内容等の周知、教育・啓発</p> <p>○ 建設副産物の処理に関する各種事項の決定、承認</p>
	建設副産物 総括責任者 (地区・支店)	<p>○ 建設副産物処理計画書の作成支援・指導</p> <p>○ 建設副産物管理状況の把握と改善策の検討</p> <p>○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理</p> <p>○ その他関係する事項</p>
	建設副産物 処理責任者 (作業所)	<p>○ 建設副産物処理計画書の作成</p> <p>○ 委託契約の締結</p> <p>○ 産業廃棄物管理票の交付・管理・記録・処理実績の報告</p> <p>○ 産業廃棄物の処理現状の確認</p>

産業廃棄物管理組織



前年度【令和5年度】実績

項目	1. 前年度		2. 当年度		3. 前年度		4. 当年度		5. 前年度		6. 当年度		7. 前年度		8. 当年度		9. 前年度		10. 当年度		11. 前年度		12. 当年度		13. 前年度		14. 当年度		15. 前年度		16. 当年度		17. 前年度		18. 当年度		19. 前年度		20. 当年度		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績			
1 印刷用紙	1,350	1,350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 アスコン破片	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 管理型紙製遊合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 石綿含有がれき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,370	1,370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 1) トランスパレンシーとして印刷用紙、紙類、紙類の付帯品等が6,000円未満のものは、

今年度【令和6年度】目標



実行計画		計画の進捗状況				計画の見直し			計画の実行状況				計画の達成状況		計画の未達成状況		
コード	内容	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)	達成率(%)
1	1.1 健康増進事業 健康診断の実施 実施率 95%	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
2	1.2 健康増進事業 健康相談の実施 実施率 95%	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
3	1.3 健康増進事業 健康講座の実施 実施率 95%	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20	合計	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

注1:1.3は計画(1)として4回記入した1.3は今年度の計画(1)として5回記入した。

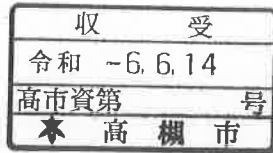
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 10日

(宛先) 高槻市長殿



提出者

住 所 大阪府高槻市緑町21-3

氏 名 丸大食品株式会社高槻工場
工場長 黒川拓史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-661-2554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸大食品株式会社高槻工場
事業場の所在地	大阪府高槻市緑町21-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09
②事業の規模	162億
③従業員数	450人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙②参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 生産工程の合理化による排水処理場への負荷低減 生産工程での不良発生への低減 フィルム歩留まり向上 分別の促進により廃棄物の一部を有価物へ 照明設備のLEDへの切り替え促進		
②計画	【目標】別紙集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 生産工程の合理化による排水処理場への負荷低減 生産工程での不良発生への低減 フィルム歩留まり向上 照明設備のLEDへの切り替え促進 分別の促進により廃棄物の一部を有価物へ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有機性汚泥 動・植物性残渣 廃プラスチック類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有機性汚泥 動・植物性残渣 廃プラスチック類

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥による肥料原料化		
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥による肥料原料化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥		
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

前 年 度 【令和 5年度】 実 績

区分	品名	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1	① 有害性汚泥	10,473		131	10,342																		
2	② 有害性汚泥	7																					
3	③ 動・植物性残渣	33																					
4	④ 動・植物性残渣	247																					
5	⑤ 動・植物性残渣	455																					
6	⑥ 廃プラスチック	27																					
7	⑦ 廃プラスチック	10																					
8	⑧ 廃プラスチック	116																					
9	⑨ 廃プラスチック	87																					
10	⑩ 廃プラスチック	392																					
11	⑪ 蛍光灯	0.12																					
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
合計		11,750	0.00	10,473	0.00	130.31	10,342.31	130.31	0.00	1,277	1,277	0.00	1,019	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)トナリ品目として四捨五入。ただし、数字が専攻である場合は下位桁まで記載可。
 など上記の部外品以外の品目(数量)は、数量が0.00未満の場合は、数量を0.00として記載してください。

今年度【令和6年度】目標

事業区分	（1）財源		（2）費用		（3）効果・影響			（4）達成状況				（5）評価				
	事業費	補助金	事業費	補助金	事業の達成状況	事業の達成率	達成率の算定方法		達成率の算定結果	達成率の算定結果	達成率の算定結果	達成率の算定結果	達成率の算定結果	達成率の算定結果		
							達成率の算定方法	達成率の算定結果								
1 210	12,400	0	12,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 210	10	0	10	0	10	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
3 ###	35	0	35	0	35	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
4 ###	560	0	560	0	560	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
5 ###	470	0	470	0	470	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
6 000	30	0	30	0	30	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
7 000	10	0	10	0	10	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
8 000	120	0	120	0	120	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
9 000	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
10 000	300	0	300	0	300	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
11 ###	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
16																
17																
18																
19																
20																
合計	13,315	0.00	13,315	0.00	13,315	100	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

（注）11と20の達成率割合として四捨五入した上、3桁未満は0.00で表示する場合があります。

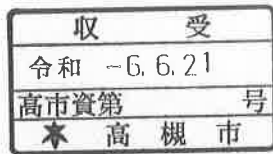
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月14日

高槻市長 殿



提出者

住 所 大阪市中央区北浜四丁目7番28号
三井住友建設株式会社大阪支店
氏 名 専務執行役員支店長 安達 紳児

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6220-8737

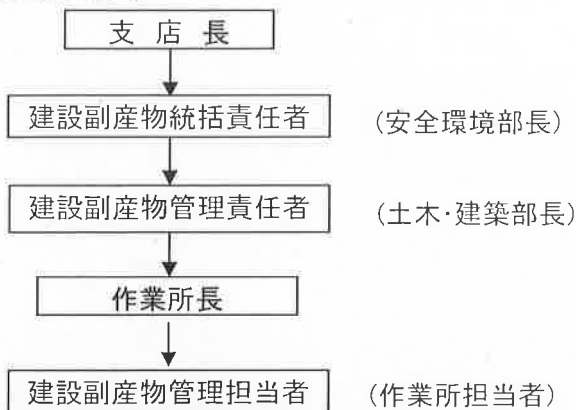
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井住友建設株式会社大阪支店
事業場の所在地	大阪市中央区北浜四丁目7番28号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	12,003,79万円
③従業員数	3,064人〔319人〕（令和6年5月末現在） 〔 〕内大阪支店
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・新築・解体工事</p> <p>がれき類(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊) →再生処理業者に委託して、再生砕石、再生骨材として再資源化 木くず→再生処理業者に委託し、チップ(合材用、燃料用)として再資源化 その他の廃棄物→委託中間処理(再生できる物は分別)し、 最終処分(安定型、管理型)している。</p>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	142.000 t	23.625 t
	（これまでに実施した取組） ・工法の改善(汚泥) ・実寸発注の実施(木くず)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	140 t	20 t
	（今後実施する予定の取組） 上記に加え、下記の取組みを実施予定 ・梱包材の簡素化(廃プラスチック類、木くず) ・ユニット化持込み(ガラスくず)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・がれき類(コンクリート塊、アスファルト塊)、木くずは分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記に加え、金属くず、紙くずについても分別を実施。

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
3.240 t	186.175 t	54.900 t	1.480 t

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
3 t	180 t	50 t	1 t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
727.120 t	2.960 t	111.500 t	t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
700 t	2 t	100 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・自ら利用を検討する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） ・施設の設置予定なし。			

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t

紙くず

木くず

伐採材・伐根材

がれき類

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

コンクリート破片 管理型混合廃棄物

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	142.000 t	23.625 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t	23.625 t
	再生利用業者への処理委託量	142.000 t	23.625 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。			

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t

木くず 伐採材・伐根材 がれき類 コン

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
0 t	0 t	0 t	0 t

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
3.240 t	186.175 t	54.900 t	1.480 t
3.240 t	186.175 t	54.900 t	1.480 t
3.240 t	186.175 t	54.900 t	1.480 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

コンクリート破片 管理型混合廃棄物

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
0 t	0 t	0 t	t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
727.120 t	2.960 t	111.500 t	t
65.120 t	2.960 t	111.500 t	t
727.120 t	2.960 t	27.875 t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	140 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	20 t
	再生利用業者への処理委託量	140 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 可能な限り優良認定処理業者から選定する。 • 電子マニフェストの導入を進めるため、対応可能な処理業者から選定する。 • 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 			
※事務処理欄			

紙くず(建設工事)	木くず(建設工事)	伐採材・伐根材	その他がれき類
3 t	180 t	50 t	1 t
3 t	170 t	50 t	1 t
3 t	180 t	50 t	1 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

コンクリート破片	アスコン破片	管理型混合廃棄物	
700 t	2 t	100 t	t
60 t	1 t	90 t	t
700 t	2 t	25 t	t
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

品名	数量	計		の		の		の		備考	備考	備考	備考
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額				
1	221	①建設汚泥	140										
2	600	②張プラスチック	30										
3	700	③紙くす(建設工)	3										
4	800	④木くす(建設工)	180										
5	811	⑤伐採材・伐根材	50										
6	1500	⑥その他がれき	1										
7	1301	⑦コンクリート破片	700										
8	1502	⑧アスコン破片	2										
9	2200	⑨産業廃棄物	100										
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
合計			1,100										

(注)1)本表は概算であり、最終的な金額は確定後に変更される可能性があります。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 25日

（宛先）高槻市長

提出者

住 所 東京都中央区日本橋本石町1-2-2

氏 名 三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
代表取締役 藤井 宏記

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6262-0080

収	受
令和	6.6.25
高市資第	号
＊	高槻市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高槻市管轄内の建設現場
事業場の所在地	大阪府高槻市番田1丁目50-1、他
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

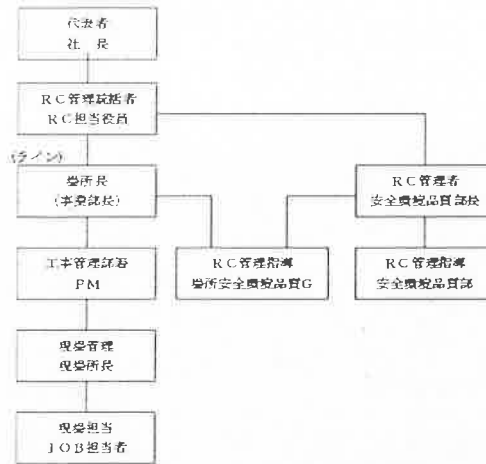
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	売上高 88,979百万円（2023年3月期）
③従業員数	約1,200人（2023年3月末）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用 金属くず ⇒ 選別 ⇒ 再生利用 コンクリートくず、アスファルト・コンクリート破片 ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用 ガラス、コンクリート及び陶磁器くず ⇒ 破砕 ⇒ 再生利用（一部埋め立て） 廃プラスチック ⇒ 選別、破砕 ⇒ 焼却 ⇒ 再生利用（一部埋め立て） 木くず ⇒ 破砕、チップ化 ⇒ 再生利用（一部燃料） 混合廃棄物 ⇒ 選別、破砕 ⇒ 埋め立て（一部再利用） 廃アルカリ ⇒ 中和、焼却 紙くず ⇒ 選別 ⇒ 再利用 廃油 ⇒ 燃料化 汚泥 ⇒ 固形化 ⇒ 埋め立て

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

コード	品 名	計 画 予 算 組 成										計 画 予 算 組 成 合 計	前 年 度 実 績	前 年 度 実 績 対 比 率	備 考		
		(1) 国庫支出金	(2) 地方交付金	(3) 地方債	(4) 国庫補助金等交付金	(5) 地方債	(6) 国庫補助金等交付金	(7) 地方債	(8) 国庫補助金等交付金	(9) 地方債	(10) 国庫補助金等交付金						
1	022	1	750.0														
2	031	0	13.7														
3	150	1	300.2														
4	150	2	805.6														
5	202	0	161.0														
6	244	0	2.4														
7	252	2	0.1														
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
	合計		3,049														

(注)1)トランスは既成として既成購入した。2)字が4桁のため不足が繰り下りる様子を記載した。

区分	品名	計		減		増		減		増		減		増		減		増	
		1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上	1000円未満	1000円以上
101	①建設用資材	100.0																	
201	②建設工事のなくす																		
301	③コンクリート破片	100.0																	
402	④アスコン破片	100.0																	
502	⑤管埋設建設系混合廃棄物	100.0																	
604	⑥石粉含有がれ	5.0																	
702	⑦照明機器(蛍光灯)	0.1																	
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20	合計	513.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	400.0

注: 1000円未満は1000円未満として記載する。また、0.05未満は0.05として記載する。